

川島小学校
「学力向上実行プラン」

○学ぶ喜びを実感し、自ら学び続ける力を身に付けた子どもの育成
 ー 自ら学び、発信し、互いを高め合う教師集団 ー

学力向上推進員 委員 校長 校長
 指導教諭 研修主任・教務主任 教頭
 特別支援コーディネーター 養護教諭
 上学年部 下学年部

校長

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【本校の取組状況の把握について】

全職員による授業参観や実践報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な学習課題に対し、多くの児童が積極的に取り組むことができています。 ●学習規律が身についておらず、粘り強く取り組むことが十分でない児童がいる。	・人の話を最後までしっかりと聞き、学習内容を習得しようと粘り強く取り組むことができる。 ・川島小学校のユニバーサルデザイン(学習規律)を実践することができる。	・川島っ子チャレンジプロジェクト(SWPBS)を軸として、話を聞く態度を定着させる。 ・聞く・話す活動を充実させ、多様な考え方があることを知る機会を増やす。 ・学習形態を工夫し児童が学んだことを振り返り、自分の言葉で表現する場を増やす。 ・川島小学校のユニバーサルデザイン(学習規律)を徹底することで、学習規律の定着を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○積極的に発言できる児童も増えてきた。ペア・グループ学習などの限られた場面では、活動に参加し表現する児童も多い。 ●伝えたいことを相手に伝えるために、適切な言葉を使い表現することが難しい児童もいる。 ●課題に取り組むにあたり、根拠を元に考えを深めていくことが苦手な児童が多い。	・課題や問われていることに対して、自分の考えをノートやワークシートに書き、学習のまとめをすることができる。 ・友達の考えや意見を聞き、自分の考えと比べたり、関連付けたりして、適切に表現することができる。	・ノートに書く基本形(めあて、学習内容(自分の考え)、振り返り)をもとにしたノート指導を充実させ、思考の過程を振り返る機会を増やす。 ・ペア学習やグループ学習、タブレット等を活用して、考えや意見を交流させる場面を増やす。 ・シンキングツールを使ったり、書き出しを示したりすることによって、自分の考えを表現できる機会を増やす。 ・教科書の巻末資料を活用したり、辞書引きを充実させたりして、語彙を増やす。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組むことができる児童が多い。 ○自ら進んで読書をする児童が多い。 ●授業で自分の意見や考えを発信したり、他者の意見を取り入れて考えを深めたりすることが、苦手な児童が多い。 ●発達段階に応じた読書ができていない児童が少なくない。	・自ら課題を持ち、課題解決をすることができる。 ・自他の考えのよさを見付け、自分の思いや考えを深めることができる。 ・進んで本に親しみ、発達段階に応じた幅広いジャンルの本をじっくりと読むことができる。	・一人一人が主体的に学べる教材や授業展開を充実させ、課題解決を図りながら、考えを深めさせる。 ・ICT機器の活用方法を工夫・改善し、対話的な学びを推進する。 ・読書への意欲を高めつつ、図書室や学級文庫の図書を、発達段階に応じた図書に分類したり、教師の推薦する図書を並べたりして、読書意欲を高める環境を整える。また、図書館との連携も引き続き行う。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

